

石本基金若手研究助成
成果報告書 提出要領

若手研究助成作業部会長

1. 提出期限

助成期間終了日(2年目末の3月31日。同年7月刊行の『科学哲学』掲載を目標とする)。

2. 題目・分量・形式など

- (1) 題目は、研究課題名をそのまま用いることを原則とするが、若干の文言の変更を行ってもよい。
- (2) 原則として、研究助成を受けた本人の単著論文とする。
- (3) 分量は、日本語の場合 8000 字以上 12000 字程度、英語の場合 4000 語以上 5000 語程度まで。
- (4) 『科学哲学』の書式に準じる。詳しくは同誌の投稿規程を参照のこと。
- (5) 内容は、1) 当該の研究課題に関するサーヴェイと、2) 自身の研究成果の報告とからなるもの。
- (6) 上記期限までに提出された原稿を若手研究助成の選考にあたった審査員が査読する。その際、一定の増補や書き換えを要求することがある(このための期間を2ヶ月程度みておくこと)。

このプロセスを経れば、『科学哲学』誌上に掲載することができる。十分に充実した内容の報告書となるよう、鋭意努力していただきたい。掲載された報告書は「審査を経た業績」としてカウントして差し支えない。

※なお、助成期間中に研究成果を『科学哲学』の一般公募論文として投稿し、採用された場合は、それを報告書にかえることができる(成果報告書提出時にその旨を事務局に申告すること)。原則として、それ以外の場所で公表された論文を報告書にかえることはできない。

※特別の事情がある場合は、事務局を通じて石本若手助成作業部会に申し出ること。

以上